



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月5日

上場会社名 株式会社銀座ルノアール 上場取引所 東
 コード番号 9853 URL <https://www.ginza-renoir.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小宮山 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 岡崎 裕成 TEL 03-5342-0881
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	1,059	38.1	△322	—	94	—	88	—
2021年3月期第1四半期	767	△63.2	△786	—	△777	—	△669	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 88百万円 (—%) 2021年3月期第1四半期 △661百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	14.57	—
2021年3月期第1四半期	△109.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	5,976	3,363	55.5	543.49
2021年3月期	6,057	3,275	53.4	529.22

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 3,319百万円 2021年3月期 3,232百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—				
2022年3月期(予想)		0.00	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2. 2022年3月期の配当予想については現時点で業績の予想が困難なため未定としております。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大とその長期化懸念により、業績に与える影響を現時点では適正かつ合理的に数値で示すことが困難な状況であります。連結業績予想につきましては、予測可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	6,252,004株	2021年3月期	6,252,004株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	143,526株	2021年3月期	143,526株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	6,108,478株	2021年3月期1Q	6,108,478株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来についての記述等に関する注意)

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、度重なる緊急事態宣言発令や、まん延防止等重点措置の期間延長や対象地域の拡大等、収束の見通しが立たず、厳しい状況で推移しました。国内でのワクチン接種の開始や一部の経済活動に持ち直しの動きが見られるなど明るい材料も見られるものの、新たな変異株の拡散が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する喫茶業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う感染防止対策の影響により、外出自粛や営業時間の短縮要請、また、テレワーク等の働き方の変化による来店客数の減少により、依然として厳しい経営環境が続くものと思われまます。

このような状況の中、当社グループは、お客様や従業員の安心安全を考慮し、衛生管理の徹底とソーシャルディスタンスの推進等の感染防止への取り組みを引き続き実施してまいりました。

また、新型コロナウイルス感染症対策を最優先に、業績の回復を図り、あらゆる角度から利益創出に向けた対策に取り組んでまいります。

今後も、更にお客様に求められる価値観を提供し続けることが出来るよう、より高品質の商品やホスピタリティあふれるサービスの提供に努めてまいります。

店舗数につきましては、2021年6月ミヤマ珈琲大宮大成町店を閉店いたしましたので101店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,059百万円(前年同期比292百万円増)、営業損失は322百万円(前年同四半期は営業損失786百万円)、経常利益は94百万円(前年同四半期は経常損失777百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は88百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失669百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、5,976百万円となり前連結会計年度末に比べ80百万円の減少となりました。これは主に、敷金及び保証金が49百万円、有形固定資産が27百万円減少したことによるものであります。

負債は2,612百万円となり前連結会計年度末に比べ169百万円の減少となりました。これは主に、流動負債のその他が130百万円、賞与引当金が14百万円減少したことによるものであります。

また、純資産は3,363百万円となり前連結会計年度末に比べ88百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が88百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は55.5%(前連結会計年度末は53.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、外出自粛による来店客数の激減等将来予想が困難な状況にあります。現時点では経営成績に与える影響を合理的に見積もることができないため、2022年3月期の業績予想につきましては、引き続き未定としております。

また、上記の通り2022年3月期の業績予想を未定の観点から、配当予想につきましても未定といたします。

今後、予想可能になった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,742,802	1,744,179
売掛金	87,557	82,728
商品	20,908	18,638
その他	334,887	339,505
流動資産合計	2,186,156	2,185,053
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,234,405	3,229,022
減価償却累計額	△2,374,707	△2,392,293
建物(純額)	859,697	836,728
工具、器具及び備品	323,816	318,170
減価償却累計額	△297,640	△293,436
工具、器具及び備品(純額)	26,175	24,734
土地	518,173	518,173
リース資産	238,800	247,569
減価償却累計額	△4,931	△17,131
リース資産(純額)	233,868	230,437
その他	3,147	3,147
減価償却累計額	△2,685	△2,800
その他(純額)	462	346
有形固定資産合計	1,638,377	1,610,421
無形固定資産		
ソフトウェア	6,401	6,984
無形固定資産合計	6,401	6,984
投資その他の資産		
投資有価証券	365,391	363,135
長期貸付金	60,063	58,962
敷金及び保証金	1,549,197	1,499,879
長期預金	100,000	100,000
繰延税金資産	64,602	64,259
その他	87,328	87,895
投資その他の資産合計	2,226,583	2,174,133
固定資産合計	3,871,362	3,791,538
資産合計	6,057,519	5,976,591

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	58,936	50,573
短期借入金	1,800,000	1,800,000
リース債務	52,536	53,466
未払法人税等	12,070	4,076
賞与引当金	29,860	14,890
株主優待引当金	22,802	16,400
その他	295,942	165,082
流動負債合計	2,272,148	2,104,488
固定負債		
リース債務	204,719	201,440
役員退職慰労引当金	112,402	116,501
退職給付に係る負債	161,171	158,974
その他	31,321	31,321
固定負債合計	509,614	508,238
負債合計	2,781,762	2,612,726
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,735,459	1,735,459
利益剰余金	1,485,020	1,573,996
自己株式	△111,095	△111,095
株主資本合計	3,209,384	3,298,360
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,365	21,539
その他の包括利益累計額合計	23,365	21,539
新株予約権	3,840	3,840
非支配株主持分	39,166	40,125
純資産合計	3,275,756	3,363,865
負債純資産合計	6,057,519	5,976,591

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	767,046	1,059,323
売上原価	99,574	145,528
売上総利益	667,472	913,794
販売費及び一般管理費	1,454,006	1,235,853
営業損失(△)	△786,533	△322,058
営業外収益		
受取利息	1,164	1,178
受取配当金	1,273	1,281
受取家賃	7,094	7,234
受取保険料	326	22
助成金収入	—	399,040
協賛金収入	—	6,500
その他	2,390	6,290
営業外収益合計	12,249	421,546
営業外費用		
支払利息	429	3,430
不動産賃貸費用	928	965
撤去費用	1,560	30
その他	334	821
営業外費用合計	3,252	5,248
経常利益又は経常損失(△)	△777,536	94,240
特別利益		
受取補償金	118,250	—
特別利益合計	118,250	—
特別損失		
固定資産廃棄損	5,631	0
特別損失合計	5,631	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△664,917	94,240
法人税等	7,556	4,304
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△672,474	89,935
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,735	959
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△669,739	88,976

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△672,474	89,935
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,461	△1,826
その他の包括利益合計	11,461	△1,826
四半期包括利益	△661,013	88,109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△658,277	87,149
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,735	959

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準等」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、クーポン利用による売上について、従来は総額を収益として認識し、値引き額を販売費及び一般管理費として計上しておりましたが、売上の値引きとして収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の重要な会計上の見積りに記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。